

## 令和 3年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	宮沢 吉浩
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	246-9000
<b>事務事業名</b>	4142 ごみ処理施設運営事業										
<b>所 属</b>	121000 市民環境部・生活環境課										
<b>施 策</b>	13011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	040202 衛生費・清掃費・清掃センター費									
	<b>事業</b>	030000 ごみ処理施設運営事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
市内から排出された一般廃棄物の適正処理及び管理を行い、健康且つ清潔で衛生的な市民生活の確保を図る。また、廃棄物のリサイクルを推進し、循環型社会の形成を促進する。						不燃ごみの適正処理及び資源物を分別リサイクルし、循環型社会の形成を促進する。また、老朽化した不燃ごみ処理施設等の必要な修繕等を実施し、安全で適正なごみ処理を行う。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 予定</b>
焼却施設廃止のため、ごみピット内の残渣物処理、灰コンベアの汚泥処理、残留薬品の処理等を実施した。	ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理のため、トラックスケールの更新、地下タンクの処分、精密機能検査等を実施する。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行う。	ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行う。
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>
ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行う。	ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行う。

指標名	客観性のある安定した指標が困難である。					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		48,684	61,946
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	30,359	1,508
一般財源	18,325	60,438	
人員数(人)	正規職員	3.2	2.2
	嘱託職員	3.0	3.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	22,297.6	15,329.6
	嘱託職員	9,447.0	9,447.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	31,744.6	24,776.6
市民一人当たりの経費	1.5	1.7	
総額	80,428.6	86,722.6	

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	11,327	消耗品費2,232、電気料4,667、修繕料3,958、その他470
12節 委託費	14,738	小型家電収集運搬2,869、灰汚泥処分2,750、不燃残渣物等収集運搬2,195、焼却施設薬剤処分2,251、その他4673
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	22,619	報酬1,908、給料10,432、職員手当等2,285、共済費2,397、旅費56、手数料346、土地借上料5,163、原材料費32

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	14,980	消耗品費3,500、電気料6,000、修繕料5,000、その他480
12節 委託費	14,837	精密機能検査等5,034、使用済み乾電池運搬処理1,074、小型家電収集運搬3,393、不燃残渣物等収集運搬2,695、河川水等測定1,210、その他1,431
14節 工事請負費	5,390	トラックスケール更新3,520、重油タンク撤去1,870
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	26,739	報酬1,993、給料11,865、職員手当等3,016、共済費3,620、旅費56、手数料887、土地借上料5,163、原材料費139

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	廃棄物を適正に処理するうえで、必要不可欠な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	廃棄物の処理について、継続して適正な処理を実施した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	廃棄物処理を安全に適正に行うためには、相応の費用負担を伴う。特に老朽化した施設において、コスト削減は難しいが、限られた予算の中で、優先順位を決めるなどして修繕等を実施した。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

ごみピット内の残渣物処理、灰コンベアの汚泥処理、残留薬品の処理等を完了し、焼却施設の廃止を行った。施設及び設備が老朽化が進んでいるため、今後、不燃ごみを安全適正に処理していくための方向性について、引き続き検討が必要となる。

